

# 彼方「かなた」

校長通信

H24.4.27

Vol.8

「伝説の学校」の指導方針は「信じる！」

「何を疑うのは、すべての可能性をつぶしていかねければならない。何を信用するのは、一つの可能性を信じ切ればよい」という言葉があります。まさに私たちの指導方針を示している言葉です。先生方にこんな話を伝えました。

私たちが指導するとき、その方針が違っているとたどり着くゴールが違ってしまいます。指導方法は十人十色、教師が十人いれば十通りの指導方法があります。しかし、指導しようとする方向が十通りでは、生徒が改善のための一歩を踏み出すことができなくなってしまいます。指導方針を共通理解するということは、生徒のより良い姿をみんなで具体的にイメージすることだと思えます。

問題行動を起こした生徒を罵倒し、恫喝し、行動をコントロールしようとしても、強風をやり過ぎるように背を低くし、下を向いてうなだれて、教師がインプットしようとする言葉の嵐が終わるまでじっと我慢しているのです。

そんな先生の指導が終わった後にその生徒から出される結論は、「問題行動は二度としません！」です。保護者が呼び出され、家庭でもしっかりと見守るように話されます。でもこのような指導で本当に改善されるのでしょうか？

一時は、先生の気合いと迫力で静まりますが、ほとぼりが冷めれば、あっという間に元に戻り、次は、やらないと約束した問題行動とは別の悪さをし、自分を落とし込んでいきます。そして、その問題行動を繰り返さないように指導していくとまた別の問題行動を起こします。（これをイタチごっこやモグラ叩きと言いますが…）これを繰り返すうちに教師を乗り越え、指導が入らない状態になる場合も珍しくありません。

「その時、どんな気持ちだったの？」「何がきっかけでそうしたの？」「これから何するの？」「いつまでにやるの？」「できることは何？」「変えられることは何？」生徒理解は、生徒の気持ちを、思いを、苦しさを聴き続け、寄り添うことです。そして「迷惑かけた学級のみんなのために放課後の日直の仕事を2週間頑張っ手伝います。」「よし！応援するぞ！続かなかつたら、又違う方法を一緒に考えよう！」

具体的な行動目標を引き出して、良い行動が続くようにサポートするのです。しかも他学年

や全く関係ない人たちから「うれしくなるね！頑張っているのを見ると！」と言われるように一緒に頑張るのです。認められる経験をさせていきたいのです。

「2週間できれば、1ヶ月、1ヶ月でできれば3ヶ月、3ヶ月でできれば半年、半年続けられれば一年頑張れる！きっとできるから！くじけそうになったら声かけて応援するから！大丈夫必ずできるから！」と力強く言葉をかけ、必ずゴールにたどり着くまで支援するのです。

言葉は、言霊です。自分が信じていることを声に出し、力強く相手に伝えると不思議と良い方向に動いていくものです。「大丈夫！必ずできるから！」この言葉が、改善のための第一歩です。ピンチをチャンスに変える最高の呪文は、「大丈夫！絶対できるから！信じてるから！」という言葉です！

「伝説の学校」の指導方針は、「信じる！」です。

ダメな生徒、悪い生徒は、湖北中には一人もいません。やっつけることが違っていれば、それをみんなで正せばよいのです！必ず良い行動が取れるようになります！絶対です！